

令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立出来島支援学校
校長名	武田 幸造

開催日時	令和6年 11 月7日(木) 10:00~12:00
開催場所	府立出来島支援学校 4階 会議室
出席者(委員)	重田会長(大阪府教育庁教職員室)、瀧本副会長(大阪成蹊大学)
	藤木委員(出来島地域活動協議会)、島田委員(西淀川発達支援センターたんぽぽ)
	西井委員(株式会社あしすと阪急阪神)
出席者(学校)	武田校長、小野教頭、樋口教頭、木崎事務長
	花谷首席、上戸首席、和田首席
傍聴者	保護者1名
協議資料	令和 6 年度 学校経営計画及び学校評価
	令和 6 年度 学校教育自己診断の実施について
	令和 6 年度 前期授業アンケートについて
議題等(次第順)	
<p>1. 校長あいさつ</p> <p>2. 令和6年度 学校経営計画及び学校評価について</p> <p>3. 授業見学(小学部)</p> <p>4. 学校教育自己診断の実施について</p> <p>5. 前期授業アンケートについて</p> <p>6. その他</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>2. (1)令和6年度 学校経営計画及び学校評価について</p> <p>学校経営計画及び学校評価の進捗状況を報告(校長)</p> <p>予定どおりに進んでいる項目(○)とあまり進められていない項目(●)等について、具体的に報告を行う。</p> <p>①最適な学習活動が展開できるシステムの構築と教員の授業力向上</p> <p>(○)研究授業・研究協議【学校経営計画1-(3)(4)】</p> <p>(●)授業立案システム検討 PT【学校経営計画1-(1)(2)】</p> <p>②社会につながることに希望を抱き、主体的に夢を実現できる力の育成</p> <p>(○)生産物を販売する機会【学校経営計画2-(4)】</p> <p>(○)中学部の就業体験実習期間の取組み【学校経営計画2-(5)】</p>	

(●)複数の学部・学年の児童生徒が協働で学習する機会の創出【学校経営計画2-(1)】

(●)清掃指導マニュアルの作成、校外での清掃活動【学校経営計画2-(3)】

③近隣学校園や地域等と連携した開かれた学校づくり

(●)学部間交流、地域を学習フィールドとした取組み【学校経営計画3-(2)(3)】

(●)公開研究授業【学校経営計画3-(1)】

④安全安心に学べる学校の体制整備 自分自身、仲間を大切にできる人権感覚の育成

(○)防犯防災の取組み【学校経営計画4-(1)(2)】

(○)人権研修【学校経営計画4-(3)】

(●)情報モラル、心と身体の学習の系統性【学校経営計画4-(4)】

⑤校務の効率化による働き方改革の推進

(○)ICT 機器の活用による業務の効率化【学校経営計画5-(1)】

(○)働き方改革【学校経営計画5-(2)】

○質問及び意見等

委員)

- ・これだけの研究協議を行っていると感じた。研究協議の場では言えないことも、初任者だけの協議の場をもつと本音を言いやすいので、そういう機会を持つのも良いと思う。
- ・販売学習も良い取組みだと思う。「売れてよかった」だけで終わるのではなく、その後のフォローが必要。例えば「お金の仕組みを知り、実生活にどう活かすか」「材料費はいくらかかり、利益はいくら出たのか」など生徒の卒業後の生活、自立した生活につなげるという視点もいるかと思う。
- ・近隣学校との交流及び共同学習についてはこれからだと思うが、共生社会の中で、同学年の障がいのある児童生徒とない児童生徒と一緒に活動することは将来的にも有益かと思う。

委員)

- ・地域として出来島支援学校と一緒に防災訓練をさせていただいた。また出来島支援は南海トラフ地震のこともあり、大野・百島地域の指定避難場所にもなっているので、今後も引き続き、防災訓練等を一緒にやっていけたらと思う。我々地域はいつでも協力させていただく。

委員)

- ・地域と一緒に教育がある、ということを感じた。(放課後等デイサービスを利用する)子どもたちからも学校の様子をたくさん聞いている。授業参観日も一日だけでなく、参観週間があると保護者もうれしいし、学校の様子がよく分かる、との声も聞いている。キャリア教育については、一部の保護者が学校選択のときに、支援学校はキャリア教育が多くて、お勉強をあまりしていないのではないかとの不安から地域学校?を選ぶ方もおられるという話もあるが、どんなふうにも学校としての方針を決めているのか。

校長)

- ・本校ではまず、授業を大事にしましょうということで、基礎教科の授業をしっかりと取り組める時間割を組んでいる。支援学校では「職業」という授業がもともとあるので、中1から高3まで系統立ててしっかりと取り組めるように、また子どもがいろいろと経験する中で自分がこういうことをしたいということを選択できるように職業の内容を設定している。府教育庁も早い時期からキャリア教育を進めていきましょう、中学部から就業体験学習をしていましょうという方向性を示しており、本校でも独自に実習受け入れ企業の開拓等に取り組んでいる。

委員)

・キャリア教育といっても、仕事のスキルをあげる授業ばかりではなく、大きな意味でのキャリア教育は、例えばあいさつができる、遅刻しない、言われたことをきちんと守れるなど、社会に出たときに役立つマナーや常識みたいなことを学ぶ、そういうふうと考えていただけたらいいと思う。

委員)

・支援学校だけではなく普通科の高等学校や地域の中学校でも、教科学習に偏ることなくキャリア教育をどんどん取り入れて、自分自身の特性を知るために早く取組を始めようというのが今の教育の傾向である。

委員)

・(開校から)半年間でいろいろなことをされてきたことが本当によく分かった。8月6日は、出来島支援の教職員19人があしすと阪急阪神に来られ、清掃事業や喫茶事業を見学された。就業するうえで一番大切なこと、「朝起きる」「遅刻せず出社する」「食事・睡眠をしっかりとる」など、自分のことを自分でできるようになること。職業準備性ピラミッドの一番ベースになるこの日常生活がしっかりとできるということ、このベース部分が(学生時代に)できていないとなかなか(就業するのは)難しい。もちろん、メモを取るとか、読み書きするとか、きちっとできないといけなし、ハラスメントについても学校できちんと教えていただきたい。

(2)授業見学(校長)

小学部の授業を見学していただく。

委員)

・施設が素晴らしい。

委員)

・落ち着いて良い授業だった。

委員)

・プレイルームが非常によく、また教室にトイレが配備されているなど他校と比べても本当にすごいと感じた。子どもたちも明るくていきいきとしていた。

委員)

・施設が素晴らしく、職場環境としても良い。
・系統立てた授業は児童生徒にとって良い教育である。

(3)学校教育自己診断の実施について(首席)

資料を基に、本年度実施する概要の説明。

委員)

・児童生徒アンケートの項目5、相談に関することで、あしすと阪急阪神でも5人体制で相談窓口を設けているが、なかなか相談できないスタッフもいる。悩みがあるときには、相談するという方法があることを教えていただいていた方が社会に出てからも良いと思う。それに加え、教職員項目3は、カウンセリングマインドにも通じる内容だと思うが、相談したらこんなふうに気持ちが楽になったという成功体験を積むことで、相談は有効な方法だと体感することができ、会社、社会に出てからもそういう窓口を利用することに繋がる。是非、傾聴の姿勢で先生方は対応していただきたい。

委員)

- ・児童生徒のアンケートにいくつか出てくる『大切に』という言葉、小学部の児童には意味が難しいかもしれない。アンケート実施の前に、「『大切に』とはこういう意味だよ」という説明が必要であると感じる。

委員)

- ・自由記述欄にどうしたら良い学校になるか『前向き』な意見が出るような設問(追加項目)があっても良いと思う。また、あわせて『しんどい・困っている』ことを記述する項目があっても良いと思う。これらの意見が翌年の学校経営計画作成にも繋がっていくと考える。

(4)前期授業アンケートについて(教頭)

資料を基に、本年度実施する概要の説明。

委員)

- ・フォームで行ったとのことであるがアンケート回収率が高くない状況で、学校としてどのような対応を考えているか。

教頭)

- ・本校は日常的にいろいろなアンケート実施においてフォームでの回答をお願いしているので、慣れていない、という保護者は少ないと思う。

委員)

- ・生徒の『分からない』という数値が何%ほどあるのか、これも示した方が良いと思う。保護者の年齢層に配慮して、しばらくの間は、紙ベースでのアンケート実施と並行してやるのが良いのではないかと。何よりたくさん出さずして、回答数を増やすことが大切であるので、そのための工夫を行っていただきたい。

次回の会議日程

日時	令和7年2月頃 (時間は未定)
会場	出来島支援学校 4階 会議室